

流雪溝に関する
調査表記入マニュアル

[E 2 7 0] 流 雪 溝

この調査表は、流雪溝に関するデータを登録するためのものである。

1. 一般的注意事項

データは次の単位で作成する。

- 路線毎とする。
- 流雪溝設置箇所毎とする。

2. 記入事項

(1) 工事番号

(2) 工事区分C

(3) 施設対応番号

(C) 地整C

(D) 事務所C

(E) 出張所C

(F) 路線

(G) 現旧区分C

(H) 整理番号1

(I) 整理番号2

(J) 整理番号3

(N) 補助番号

上記(1)、(2)、(3)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(H)、(I)、(J)、(N)の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、
§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(P) 百米標自(km)

該当する区間の距離標(百米標)を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、
§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(Q) 距離自(m)

該当する区間の距離標(百米標)からの距離を記入する。記入方法については、「道路施設基

本データ作成入力書式マニュアル（共通編）， §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(R) 百米標至 (km)

該当する区間の距離標（百米標）を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編）， §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(S) 距離至 (m)

該当する区間の距離標（百米標）からの距離を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編）， §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(V) 施設完成年度

施設が完成した年度を記入する。（年は和暦を記入）

年号コードについては、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編）， §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(記入例) 昭和61年 ——> $\begin{array}{c} \underline{361} \\ \uparrow \\ \text{年号コード (3:昭和)} \end{array}$

(W) 施設改修年度

施設を改修した年度を記入する。（年は和暦を記入）

年号コードについては、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編）， §1. 共通注意事項」を参照のこと。施設の改修がなされていない場合は‘*’を記入する。

(記入例) 平成5年 ——> $\begin{array}{c} \underline{405} \\ \uparrow \\ \text{年号コード (4:平成)} \end{array}$

(X) 完成年月

該当する流雪溝が完成した年月を記入する。（年は西暦年で記入）

(記入例) 1983年 8月 ——> 198308

(Y) 上り下り区分C

上り・下り区分について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
上下線共通	0
上 り 線	1
下 り 線	2

(AA) 所在地自

該当する区間の始点側の所在地（字番地まで）について、30文字以内の日本語で記入する。

(AB) 所在地至

該当する区間の終点側の所在地（字番地まで）について、30文字以内の日本語で記入する。

(AC) 設置区分C

設置区分について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
路 側	1
歩 道 下	2
中央分離帯下	3
そ の 他	9

(AI) 延長 (m) : ◆

該当する区間における流雪溝の延長（のべ延長）を記入する。

(AK) 高さ (m)

流雪溝の内空寸法の高さについて、小数点以下1位まで記入する。

(AL) 設置道路延長 (m) : ◆

流雪溝が設置されている道路の延長を記入する。

(AM) 備考

特記事項があれば50文字以内の日本語で記入する。

(AN) 市区町村自C : ◆

該当する区間の始点側の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

(記入例) 茨城県鹿島郡旭村の場合 ——> コード：08401
(検査数字は含まない)

(AP) 市区町村至C

該当する区間の終点側の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

(記入例) 茨城県鹿島郡大洋村の場合 ——> コード：08403
(検査数字は含まない)

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/1

E270：流雪溝

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999		○	○
現旧区分C	半角1文字		○	○
整理番号1	半角8文字		○	○
整理番号2	半角4文字		○	○
整理番号3	半角4文字		○	○
補助番号	半角2文字		○	○
百米標自	999.9	k m	○	○
距離自	9999	m	○	○
百米標至	999.9	k m	○	○
距離至	9999	m	○	○
施設完成年度	999	和暦		○
施設改修年度	999	和暦		○
完成年月	199901	西暦		○
上り下り区分C	半角1文字			○
所在地自	全角30文字			○
所在地至	全角30文字			○
設置区分C	半角1文字			○
延長	999999	m	○	○
高さ	9.9	m		○
設置道路延長	999999	m	○	○
備考	全角50文字			○
市区町村自C	半角5文字		○	○
市区町村至C	半角5文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照